

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3年 3月 19日

公表:令和3年 3月 31日

事業所名:児童デイサービス・アニマートさのstudy

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	コロナ対策で、おやつ提供時の座席の位置を分散し個別化を図った。	コロナ禍、蜜を避けるように机の配置の工夫や飛沫感染防止パーテーションを設置するなどしていますが、更に徹底を図ってまいります。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	法令通りの人員配置になっている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	車椅子利用の方のためにリースでトイレの手摺を設置している。	車椅子ご利用の方がいらっしゃるの、トイレの段差やドアの開閉についてご不便をおかけしないよう至急対応いたします。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	問題点の気づき等を丁寧に取り上げ、全職員で改善を進めている。	ご利用者様の実態に応じて常に創意工夫を図り、提供する支援の質の向上に努めて参ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	アンケート結果の考察については、全職員で行った。	今後も、保護者様のご意見やいただいたアンケート結果に真摯に向き合い、業務改善を行っていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	専門家を講師に招き職員の資質向上に努めている。	指導員の知識と支援技術の向上は必須と考えております。今後も定期的に研修の機会を設けたりケース会議を重ねたりして資質の向上を図っていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	全職員が計画立案に関わるようにしている。	心理検査等を必要に応じて実施し、エビデンスに基づいた実態把握と保護者様やお子様のニーズを客観的に分析し、よりよい放課後等デイサービス計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	WISC-4を中心にテストバッテリーを組み、利用者様の実態把握をすることに努めている。	必用に応じてWISC-4、絵画語彙検査、フロスティック視知覚発達検査、S-M社会生活能力検査等を実施し、お子様の実態や今後の支援の方針について共通理解をさせていただけるように努めていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	週単位でT1を決めチームとなって支援をしている。	T1は得意とする分野を担当するようにし、職員相互に意見を出し合い、より魅力のある活動になるよう今後も立案をチームで行っていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	学習、集団、おやつ、交流タイムといった個別支援と集団活動を日々組み合わせている。	学習活動、ソーシャルスキルトレーニング、言語活動、制作活動、ビジョントレーニング等お子様が楽しく活動できるようプログラムを工夫し、常に進化した内容で療育をしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	長期休業中は、体験・制作・季節のイベント等普段できない活動を取り入れた。	長期休業中は時間のゆとりがあるので、制作活動や体験活動、異学年集団活動等ご利用者様がより満足できる内容となるようにきめ細やかに準備をしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	日々活動が固定化しないように計画を立てている。	ご利用者様の発達段階に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、成就感や達成感を得られるように今後も工夫していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	回覧板や連絡ノートを活用し、職員間の情報の共有化を図っている。	週1回のご利用者様がほとんどなので、効率よく充実した支援が行えるように教材開発・準備に努めると共に有益な活動になるよう職員間の意思疎通も図っていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	6	0	支援の振り返りは、当日できない時には翌日の午前中に行っている。	支援後には次回配慮を要することや気を付ける点などについて確認し合い、より良いサービスが提供できるように努めます。

関係機関や保護者との連携	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	記入後全職員が目を通せる場所に保管し情報の共有化を図っている。	日々の記録を丁寧に取り、よりお子様に寄り添った支援ができるよう努めます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	相談支援事業所とも定期的に連携を図り、計画の見直しをしている。	モニタリングを通して、支援目標が達成されているか等について支援提供を検証し支援の改善や職員のスキルアップに繋げていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0	職員研修でガイドラインを印刷し輪読会を実施した。	総則、設置者・管理者向け、児童発達支援管理責任者向け、従業者向けガイドラインの内容を確認し、不断に創意工夫を図り、提供する支援の質の向上に努めます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達管理責任者が参加した。	参加者は事前にデータや資料の収集を行い分析をしておきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	学校の教頭先生を窓口連絡調整等を行っている。	管理者が窓口となり、各学校との連絡調整に努めていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0		保護者了解のもと、医療的ケアの情報や支援の仕方等ご指導を仰いでいきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	0	無回答2 管理者・児発管が窓口になり情報交換を行っている。	就学前にご利用されていた各機関での支援内容について理解しておくことが必要と考えています。さらに、支援の連続性を保障していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	0	無回答2 支援内容・記録については5年間保存している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	協力医療機関やLDサポートセンターのとの連携を図っている。	今後も小児科医・専門機関と連携し指導助言を仰ぎ、指導員の知識・技術の向上への取り組みを継続していきます。
保護者への説明責任等	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6		多様な学習・体験・交流活動を長期休業中に積極的に取り入れ、地域との交流を図っていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5	無回答1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	保護者様との信頼関係の構築に努めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1	無回答1 カウンセラーが常駐しているので随時相談に応じることはできた。	コロナ禍、直接的保護者支援が難しい場合、Study便りを活用して、お子様の特性理解や自宅でできるペアレントトレーニングについて広報・啓発に努めます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	見学・契約時に丁寧な説明はさせていただいている。	管理者が契約時に保護者様にご理解いただけるように今後も丁寧な説明をします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	認定カウンセラーが対応し、支援・助言を行っている。	保護者様が子育てに関する悩み等を相談できる場としての事業所内相談支援事業をご利用いただけるよう広報に努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		今年度はコロナ禍で保護者会を開催できなかったが、次年度はコロナ対策を十分取った上で実施したいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	事業所内に苦情箱を設置している。	苦情があった場合には、管理者を中心に解決に向けた手順の整理、迅速かつ適切に解決が図れるように仕組みを構築していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	月1回事業所だよりで活動内容や情報を発信している。	毎月1回、Study便りを発行していきます。

	35	個人情報に十分注意している	5	0	無回答1	今後も全従業者に対して、秘密保持の遵守の徹底を図っていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	無回答1	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		ホームページや会報誌を通じて活動の情報を積極的に発信していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	無回答1 感染症については職員・保護者ともに注意喚起を徹底した。	今後も各種マニュアルについて、職員はもちろんのこと保護者様に周知していただけるよう努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	火災時・地震時の避難訓練を実施した。緊急避難場所まで歩いて避難する練習も行った。	年間計画に位置づけをし、定期的に火災時・地震時・不審者対応・風水害の訓練については実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	無回答1	お子様の状態の変化や保護者の態度等の観察や情報収集により、虐待の早期発見に努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	無回答2	身体拘束に当たっては緊急やむを得ない場合を除き禁止されていることや身体拘束を行わざるを得ない事態を想定した対応について職員間で共通理解をしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	食物アレルギー調査結果を一覧表にまとめおやつ提供に生かしている。	年に一回は、食物アレルギー調査を実施します。結果は日々の活動支援に生かしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	支援活動中・送迎時・保護者対応時等ヒヤリハットとした事例を伝え合う。	今後も職員のヒヤリハットに対する感覚を養う必要があるため、情報や事例から学んでいきます。